



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3

Real Happiness is Helping Others

まことの幸福は人助けから

1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の予定

10月30日 第296回例会

■卓話

「インド哲学について」

On Hindu Philosophy

東京大学人文科学学科インド哲学専攻博士課程2年

李 榮洙氏 (米山奨学生 ●国籍/韓国)



“月の砂漠”

作詞/加藤まさを ソング・リーダー/山下忠治 ピアノ伴奏/泉晶子

月の砂漠を はるばると 旅のらくだが 行きました
金と銀との くら置いて 2つならんで 行きました

●先週報告

10月23日 第295回例会
(夜間例会)

■卓話 「日本人のホンネとタテマエ」 Mr. James S Sterngold (ニューヨークタイムズ東京特派員)

■会長挨拶 (柴本会長)

レディスディの盛会、Mr. Sterngoldの卓話、河合会員からのワインの差し入れに対して謝意が述べられ、出席されたご夫人12名を紹介されました。

■社会奉仕委員会 (武下委員長)

本日社会奉仕だよりを発行し、港区民まつり福祉バザーの報告をしました。出品リストを添付してありますが、名前のない方も次の機会にはよろしくお願いします。

■親睦委員会報告 (河合委員長)

秋の親睦旅行の参加者、26名になりました。今週中にかためたいと思います。迷っている方は是非決断して参加の意志を表明してください。

■出席報告 会員66名中 出席40名 欠席26名(内出席免除者2名)/10月16日修正出席率87%/ご同伴者12名(敬称略) 平井恵子、伊部千歳、石崎清子、石東陽子、岩瀬和子、河合泰子、西澤市子、佐々木典子、佐藤梯子、新保寧子、吉田克枝、Vivian Zaloom/ビジター1名 小林雅純氏(東京浅草中央)/ゲストスピーカー同伴者 Mrs. Ellen Rudolph

●92~93年度

R1第2750地区千代田・
京浜・山の手分区合同
インターシティミーテ
ィング報告

10月19日(日)午後、品川のホテルパシフィック東京で、1500名を超えるロータリアンが集まり、IMが盛大に行われました。

12:30 登録受付 13:00 開会(点鐘、ガバナー挨拶 他)

記念講演「アメリカ大統領選挙と国際情勢」 講師 山室英男氏(NHK解説委員)

●第1分科会「よりよきクラブ運営」

●第2分科会「青少年育成と次代への継承」

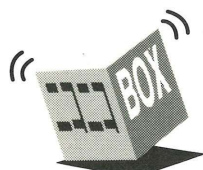
●第3分科会「75周年を迎えるロータリー財団の現状と課題」

●第4分科会「子孫のために・環境保全」

16:30 分科会報告 17:00 点鐘

17:00 懇親パーティー 19:00 閉会

当クラブからの参加者(順不同、敬称略)/宮武、斉藤、入沢、永井、河合、渡邊、佐藤(定)、馬場(一)、二宮、沖、四分一、伊部、保森、小西、宮本、新保、丸山、廣江、高須、渡部、坂本、吉岡、武下、大日方 以上24名



順不同、敬称略

10月23日●12件/¥33,000

多額のご寄付をありがとうございました。

本年度累計/¥851,836

武下 朗●福祉バザーへの商品出品に奥様方のご協力ありがとうございました。

佐藤 定宏●お蔭様で改築中の新居が完成、25日に旧住所に引っ越しいたします。

吉田 用親●レディスディによろこそ、楽しい一時をお過ごしください。

山下 忠治●今日はご夫人方の前で、はずかしくも指揮棒を振ります。

佐々木忠行●レディスディに初めて夫婦で参加させていただきます。

丸山 忠典●所用で早退いたします。

岩瀬 秀郎、入沢 頼二●佐藤定宏さん、荒木さん、写真ありがとうございました。

川鍋 二郎、新保 國彦、平井 逸夫、伊部 和夫●荒木さん、写真ありがとうございました。

「日本人のホンネとタテマエ」

私が3年間日本に住んで感ずるのは、日本人のたてまえとほんねの使い分けだ。たてまえはわかりにくい、ほんねはわかりやすい。例えば、最近の証券会社と政界のスキャンダル、たてまえが混乱してわかりにくかった。

証券会社の損失補填が表面化したとき、ある証券会社はやったといい、多くの証券会社はやらないといった。顧客ももらった、もらわないとさまざまな反応であった。日経新聞などにリストが出たが、公式なものはなにもない。大蔵省はおおよそそうだろうというだけで、損失補填が違法だとはいわない。補填をあらかじめ約束していれば違法だという見解だった。損失補填を現金を積んで行うわけにはいかないので、いんちきな取引で処理した。それがわかると大蔵省はその銘柄は上場されていないので違法でない、取り締まる方法もないといった。毎日新聞に上場銘柄の名前が出ると、今度は顧客が損したのではないから問題ないという。次に証券会社の役員が暴力団と取引していることがわかった。それは違法だという。しかし別に厳しい罰が与えられたわけではない。トップの役員が退任しただけで終わった。このようにたてまえは実に複雑だ。しかしほんねは簡単だ。実は大蔵省はすべて知っていて、それがばれたからばつが悪かったのである。野村證券の総会で田淵さんが質問に苛立って、大蔵省はすべて承知していると発言してばれてしまった。たてまえでは大蔵省はなにも知らない、悪いやつをこらしめると取り繕っていたが、ばれると謝って終わり。事実は出てこない。

政界のスキャンダルでは、金丸さんの秘書が金を受け取ったという記事が出て、金丸さんは憤慨して否定したが、まも

Mr. James S. Sterngold (ニューヨークタイムズ東京特派員)

なく認めた。その時、日本の検事は何もしなかったし、金丸さんとの間で取引し、受け取ったことを書面で認めさせ20万円の罰金を払わせた。その後金丸さんが辞任して、竹下派の権力争いが始まった。新聞は毎日それを報道している。

アメリカでは、そんな争いは記事にはならない。書くときは必ずほんねに迫る。例えば金丸さんの暴力団との関係を徹底的に追求する。何週間か前、橋本さんにインタビューした。「金丸さんは質問に答えるべきではないですか。」橋本さんは、そうすべきだ、妨害してはいけないと答えた。それをニューヨークタイムズに載せた。そうしたら日本の記者はショックを受け、橋本さんは本当にそんな発言をしたのかという。また、友達の記者はそんな失礼な質問は出来ないという。これは外国と大きな違いだ。外国の記者は、何もかもあばきだすという考えを持っている。アメリカでも、強いものは手段を尽くして都合の悪いことを隠そうとするが、スキャンダルがあると、新聞記者も裁判所も議会も徹底的に調べてすべての事実を洗い出す。日本は違う。あまりほんねの部分をあからさまにすると角が立つので、たてまえ中心に伝える。その中からほんねを自分で見つけなければならない。

従来、外国人記者は日本を特殊な国として扱い報道してきたが、ニューヨークタイムズの編集長は、日本についても他の国、ロンドンやモスクワと同じように書けといっている。我々はたてまえではなく、常にほんねに焦点を当てている。いろいろ申し上げたが、アメリカと日本の間には違う点より共通点が多い。だから私は日本が好きである。

(通訳：ザルム まとめ：大日方)

●第2750地区ロータリー情報委員長会議報告

佐藤 定宏

(ロータリー情報委員長)

平成4年10月21日、京王プラザホテルで、当地区ガバナー主催の地区情報委員長会議が開催され、出席してきました。

紫野巖ガバナーノミニ、鈴木正二地区情報委員長以下各分区情報委員長の下、地区全クラブの情報委員長が参加され、各クラブで抱えているロータリー情報に対する問題点とその対応策について、熱心な討議が行われました。この会議で特に注目された点は、以下に列記するものであります。

- ① 新会員は他クラブへのmake upがしづらいので、新会員にmake upの仕方と他クラブの例会は一体どんな雰囲気であるかを体験してもらうために、紹介者が必ず第1回目のmake upの際に同行する。これによって新会員が欠席しないように誘導する。
- ② 班別会という組織を作る。当クラブに應用すると、各テーブルを1つの班として5～6班を作る。仮に5班とすると、過去5年間の前会長と幹事がテーブルマスター役として各班のテーブルにつき、班ごとに年2回くらい炉辺会合を催す。このことで新会員と先輩会員を早く馴染ませ、親睦の実を挙げ、ロータリー情報についても話題に出来る。
- ③ ロータリーの公式文献は日本語が分かりにくく、中には情報委員長ですら目を通しただけで読むのが嫌になったという話が出た。“奉仕の理想”とは何かといった疑問も多発、公式文献をもっと練れた日本語に直してもらいたいという主張が非常に強かった。

以上、会議の内容と雰囲気について的一端をご報告します。

●次回予告

11月6日(金)第297回

次年度(93～94)理事候補者指名

卓話予定「先生とお呼びした方」

池部 良氏(俳優 ●東京南RC会員)

東京新南ロータリークラブ

会長：柴本芳郎 副会長：宮武保義 幹事：入沢頼二
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

齊田 戡、青野信次、田中 武
荒木昭文、新保國彦、鈴木 丈
●10月度編集担当者／大日方 真
●卓話テーマ翻訳／渡部 一元
●印刷／豊圓堂印刷(株)